

第3回阪南市下水道事業経営戦略策定審議会 議事録

1. 開催日時 令和3年1月13日（水）午後2時59分～午後5時10分
2. 開催場所 阪南市役所 全員協議会室
3. 出席者(敬称略)
〈委員〉下村泰彦（会長）・楢田泰子（副会長）・川原尚子・米田伊津雄・寺田雄揮
〈事務局〉西川事業部長・木元課長（司会）・西村課長代理（説明）・山本主事
・平田生活環境課長（関係課）、委託先トーマツ（井谷氏）
4. 傍聴者 なし
5. 次第
（1）開会
（2）議題
・阪南市下水道事業経営戦略素案について（資料1・資料2）
・その他
（3）閉会
6. 資料
資料1 阪南市下水道事業経営戦略（素案）
資料2 阪南市下水道事業経営戦略（素案 概要）
参考資料1 阪南市下水道経営戦略策定の今後のスケジュール

7. 議事内容

次第1 開会

開会、司会より配布資料の確認

委員の出席状況の確認

次第2 議題

（1）阪南市下水道事業経営戦略素案について

会 長	早速だが議事を始める。 まずは、議題（1）阪南市下水道事業経営戦略素案について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	阪南市下水道事業経営戦略素案について説明する。 配布資料1・資料2を参考にさせていただきたい。 資料1については、現段階での素案の本編となる。

すべての内容について、説明をしたいところだが、時間の都合もあり、概要版としての資料2（A3版）を中心に説明する。

資料2のグラフなどについては、前の画面に映すので、そちらも参考にしてほしい。

また、事前配布資料からの変更についても説明する。

（変更点について説明をはじめますが、変更箇所を確認しながら説明をしてほしい旨の要望があり、再度、説明。）

事前配布資料からの主な修正点を資料1素案本編から説明する。

2 ページの本文「上位計画」の文言を削除した。

5 ページの沿革図において、「供用開始」を「供用開始（事業開始）」とした。

8 ページにおいて、管渠の注釈を追加した。

10 ページの普及率のグラフを見やすく修正した。

21 ページの説明文において、「耐用年数については、50年といわれています」と追記した。

27 ページの図の中に「差額は内部留保資金等で充当」と追記した。

37 ページの本文、「計画区域外」を「認可区域外」に変更し、「関係部局と連携し」を追加した。

41 ページのウ．繰入金の事項において、「繰入金比率」の後に「約38%」を追加した。

43 ページのオ．不明水対策において、「有収率の向上、収益の改善」の記載を追加した。

その他にも微修正をしている。

また、資料2概要版においては、

第1章の説明文の「上位計画」の記載を削除した。

グラフ④に「標準耐用年数迎える管渠延長が最長」を追加した。

グラフ⑥の「資本的収」を「資本的収支」とし、「企業債収入」を「企業債」に変更した。

参考図⑧「計画区域」を「計画決定区域」に変更した。

また、「事業の概要」の、水洗化率について、追加説明をする。

なお、本編6ページでは、水洗化率が、水洗化人口÷処理人口となっているが、こちらの式は間違いなので、③÷②の箇所の削除をお願いしたい。

水洗化率とは、本表のとおり、水洗化人口を告示済人口で割った数値となるが、下水道の工事が完了するとすぐに使用できる訳ではない。

本市においては、7月に、法的な告示を実施した後でしか、使用できない。したがって、現在処理人口とは、令和元年7月に告示した告示済人口となり、水洗化率とは、現在水洗化、接続されている人数で、告示済人口を割った数値となる。

以上、補足と訂正とする。

さて、「下水道事業経営戦略について」、本編では、1 ページから 3 ページとなるが、説明する。

策定の趣旨については、従前から説明しているが、人口減少が進む中、安定期な下水道事業を継続していくために、今般、本計画を策定するもので、計画期間は、令和 3 年 4 月から 10 年間となる。

次に、第 2 章 下水道事業の現状と課題については、素案、4 ページから 33 ページとなる。

事業の概要等については、平成元年度末で、左の表のとおりで、下のグラフは 5 年間の普及率の比較で、普及率が 52.3% で、全国平均 79.7%、大阪府内市町村の平均 96.7% に比べ、普及率が低い状況となっている。

下のグラフは、人口と下水道普及率の推移で、平成元年度に、污水管の工事に着工し、平成 5 年に供用開始し、27 年経過している。

下のグラフは、大阪府内の下水道使用料の比較となっており、府内で高い方から第 2 位となっているが、右のグラフのとおり、下水道使用料だけで、経費を賄えていないのが現状である。

次に右段、耐用年数を迎える管渠の延長のグラフとなっている。

管渠の標準耐用年数は 50 年となっているが、この 10 年以内に、大規模開発地から引き継ぎを受けた約 20km の污水管渠が耐用年数を迎え、約 25 年後には、平成初期頃に布設や引継を受けたものが耐用年数を迎えるピークとなり、老朽化が進行していることがわかる。

なお、こちらには、記載はないが、素案 24 ページには、有収水量などの経過、水洗化の状況など記載している。

次に、財政の状況として、維持管理等のための収益的収支と将来投資のための資本的収支の現状を示している。

令和元年度の収益的収支は、収益的収入が約 11 億円で、下水道使用料収入は約 3.4 億円となっており、使用料だけでは、経費を賄っておらず、一般会計からの繰入金に依存している。

令和元年度の資本的収支は、資本的収入が約 5.8 億円であり、企業債収入が約 3.9 億円、出資金（繰入金）が 1.5 億円となっている。

また、資本的支出のうち、施設投資（建設改良費）は約 1.5 億円、企業債の償還は約 7.9 億円となっており、起債の償還金の割合が多くなっている。なお、不足する額は、留保資金などで賄っている。

その他にも、組織体制や阪南市版 SDGs などについても、記載してある。

次に第 3 章は、基本理念と基本方針として、阪南市の下水道事業の現状と課題を整理した上で、最も根本的な考え方となる「基本理念」、具体的な方策となる「基本方針」を定め、これらにもとづき各種の取組が実施されることとなる。

基本理念として、次世代へつなぐ下水道、基本方針として、「計画的かつ効率的な事業推進」、「収支のバランスのとれた経営」としている。

裏面をお願いしたい。

一定条件のもと、主に下記の項目に注目し、今後10年間のシミュレーションを実施した。

前提条件については、素案51、52ページ、詳細の収支計画については49、50ページにある。

まず、投資内訳のグラフ、普及の促進を行う新規投資と、施設の健全性を保つための更新投資金額についての投資の金額と内訳である。

こちらは、下記の参考図にもとづき、試算している。

新規整備については、立地的適正化計画区域を優先的に整備していくこととし、併せて下水道の事業認可区域を見直し、市全域において、浄化槽を含めた効率的な汚水処理の整備を図っていききたい、と考えている。

更新については、下水道施設の機能を保持するための健全性を把握しも計画的な維持管理を実施していくためのストックマネジメント計画にもとづき、更新投資を行っていききたい。

次に、繰入金の将来推移の試算となる。

一般会計からの繰入金については、令和元年度実績が、約5.7億円となっており、令和7年までは、高い状態で推移するが、中盤以降減少する見込みで、目標設定として、繰入金の抑制を図る。

次に、企業債残高の試算となる。

企業債発行額よりも企業債償還金の方が多くなるため、企業債残高は徐々に減少する見込で、資金残高は現状水準（約8千万円）を維持する前提となっており、目標設定として、残高の減少となる。

次に、汚水処理費用を使用料収入でどれだけ賄っているかを示す重要な指標となる経費回収率の試算である。

使用料改定を実施しない想定であるため、使用料収入の大きな増加がない以上、劇的な改善はない見込である。

目標設定として、経費回収率73%以上をめざしていく。

なお、素案40ページには、目標値を記載している。

第5章の経営戦略の推進として、PDCAサイクルを徹底させ、進捗管理を行い、3～5年後には、見直しを実施したい。

以上が骨子の概略となる。

次に、参考資料について、説明する。

今後のスケジュールとして、来週の市長以下各部長にて構成される行政経営会議を得て、議会の常任委員会への報告後、本計画に対する、パブリックコメントを令和3年2月9日（水）から3月3日（水）までを予定している。

		<p>なお、本審議会での討議を経て、素案を策定し、パブリックコメントの後、成案化していくものとする。</p> <p>説明は以上である。</p>
会	長	<p>素案と概要版の説明を受けたが、概要版が素案のエッセンス（本質）なので、概要版を用いて、各項目について、確認をとっていきたい。</p> <p>まずは、第1章「下水道経営戦略策定について」、趣旨や位置づけなどを記載している。本審議会の根本となる部分である。</p> <p>「平成5年度の供用開始以来、整備に努めてきましたが、人口減少が進み…」と述べられているが、このような頭出しをしっかりとしないといけない。</p> <p>また、「総務省から中長期的な計画策定の要請もあり、安定的に事業を継続していくため、上位計画の「阪南市総合計画」や横並びにある「阪南市生活排水処理基本計画」なども踏まえ、本計画を策定しました」とある。</p> <p>これはこれでいいと思うが、いいだろうか。</p>
各	委員	特段意見なし
会	長	<p>さて、計画期間は10年とあるが、これはこれでいいと思う。</p> <p>次に、現状をいかに明らかにしながら、解決しにくいところと解決策について、第3章・4章に記載されなければならない。</p> <p>本来は、「現状」と「問題点」というべきであるが、いろいろな計画では、「課題」と書かれている。</p> <p>何とかしないとイケないこと、「課題」が、この2章で書かれているはずである。</p> <p>まずは、令和元年度末での下水道事業の概要である。</p> <p>少し確認をとっておきたい。行政人口 53,600 人、整備済人口 28,040 人、告示済人口 28,155 人ということでもいいのか。</p>
事	務局	その通りである。
会	長	<p>水洗化人口が、24,411 人ということであるが、下水道整備率（普及率）と接続率（水洗化率）は間違いやすいと思われる。</p> <p>ところで、水洗化率は 86.7%でとのことであるが、他市町村と比べると、水洗化率は低い方となるのか。</p>
副	会長	水洗率について、低い方だと思われる。大きな都市なら 90%後半である。

会長	<p>普及率も悪いし、接続率も悪ということになる。せっかく整備してもなかなか接続してもらえないとの状況である。斜面があったりすると、接続しにくいので、かなりの負担になると思う。こういう事情も重なるってくると、水洗化率も低くなると考えられる。</p> <p>ともかく、事業の概要と現状についての確認からしていきたい。</p> <p>下水道使用料について、府内で高い水準であるが、財政状況が厳しい、使用料を徴収しても財政が苦しいということで、課題を整理されているが、これはこれでいいと思う。</p> <p>しかし、他の項目で、評価が書かれていない部分もある。</p> <p>そこで、是非、現状がわかるような図と説明文にしてほしい。</p> <p>今から、各項目について、そのような確認をしていきたい。最終的に、すぐに外に出ていくことになるからである。現状の下水道の状況を他の方々にわかるような資料としたいので、各委員の方々に確認してほしい。</p> <p>まず、①下水道処理人口普及率の比較である。</p> <p>ここで、図の作り方について、少し申し上げたい。</p> <p>図の縦軸は何で横軸は何を示すのかを項目を入れるべきである。見たらわかるが、何を示すのかをきちんと明示してほしい。</p> <p>①では、縦軸は普及率、横軸は年度、と明示すべきである。</p> <p>また、最後はプレゼン（発表）のやり方となるかもしれないが、年の表し方もバラバラである。「平成」とするのか。「H」とするのか。また、西暦で表示するのか。「平成」と表示するなら、すべての図表を統一しておく方がいい。ぱっと見てわかるように、きちんと統一された方がいい。</p>
事務局	<p>そのあたりは再度、確認した上で、統一して、わかりやすく表示していきたい。</p>
会長	<p>そのあたりも含め、気付いた点を言ってほしい。</p> <p>この場で支障はないが、前提条件として、もう一度、しっかりと確認してほしい。</p>
副会長	<p>図であるが、グレーの色の文字が多い。図の枠や文字をしっかりと示してほしい。文字は黒字に直して、わかりやすくしてほしい。</p> <p>また、④では、令和50年との表示もある。令和が50年と想定しにくいと思う。西暦なら西暦で統一された方がいいと思う。</p>
会長	<p>事務局において、他の計画を参考にして、図の表示方法等について、確認をしてほしい。</p>

事務局	再度、確認をとり、修正していく。
会長	やはり見やすさが大切であると思う。しっかり確認してほしい。
委員	概要版の「事業の概要」において、記載されている項目が本編の6ページにある「事業の概要」では、記載されていない項目がある。統一したほうがいいと思う。概要版であれば、概要版と本編の項目を合わせてほしい。
会長	再度、確認して統一してほしい。 体裁だけでいうと、グラフタイトル表示の文字の大小がばらばらであり、また、白ぬきと黒ぬきとなっていて統一感がない。 このまま公表されることはないと思うが、凡例や表示の仕方など、しっかりと統一的にするように、確認をしてほしい。 体裁ばかりで、申し訳ないが、本編を製本すると、のりしろなど大丈夫なのかとも思う。最終的には、事務局で確認すると思うが。 内容のチェックはもちろん、誤字脱字のチェックや体裁のチェックなどの基本的な確認も必要となる。 こういうものが出てくると、そこばかりが注目される。内容も確認していきたい。
副会長	概要ばかりが着目されているが、本編の目次をぱっと見て、節や項のタイトルだけでわかるようにしてほしい。例えば、第2章の現状と課題であれば、何が現状であるのか。課題となっていることは何か。それらが、わかりにくい。はっきりわかるようにしてほしい。目次をみてストーリー（話）がわかるような構成にしてほしい。 この概要版と本編が一致しているのか、なかなか確認しにくい。概要版での「課題」は、本編でもそうなっているのだろうか。
会長	本編の目次に中身のキーワードが出でくるようにしてほしいとの要望である。事務局で確認してほしい。
委員	概要版②人口と下水道普及率の推移は、本編の9ページの人口と下水道普及率の推移に該当することになるのか。概要版と本編の見え方が違う。再度、確認してほしい。
委員	本編の6ページ、阪南市下水道事業の概要において、下水道普及率は、52.3%で、事業開始が遅かったので低い。また、水洗化率（接続率）が、86.7%となっているのも低いのではないか。

普及率が伸びない中で、下水道使用料の収入が伸びなくなってきており、やはり、接続率（水洗化率）を増やしていくべきだと思う。

そこで、四條畷市の事例を紹介する。この市は細長い市で、真ん中に山がある。立地的に条件がいいとは言えないが、水洗化率が99%と高い数値になっている。

どういう取組をしているかと調べてみると、下水道接続指導要綱を策定し、下水道管を布設すると、法的に接続義務が生じるので、接続していない場合は、最初は特別指導、そして、命令、最終的には、告発までするとのことである。事情があれば、接続を猶予するとのことであるが、厳しいやり方をして、99%の高い水洗化率（接続率）となっている。阪南市も接続率（水洗化率）を上げていく努力をしていくべきではないか。

このようなグラフを市民に見せただけでは、さっぱりわからないところも多いと思う。接続率（水洗化率）が低いなら、それをもっと説明しないとイケないと思う。このようないろいろな問題点があるならば、具体的に記載していくべきではないか。

会 長 水洗化率86.7%を上げる方策として、他市では、要綱などを策定しているとのことである。阪南市では何か取り組んでいるのか。

事 務 局 接続を促進するためには、費用の直接的な補助が有効であると思う。しかし、本市では、接続工事への直接的な補助制度はなく、排水設備工事（宅内接続工事）に係る融資斡旋と融資の利子補給だけである。

実情として、高齢者の一人暮らしが多いなかで、接続工事をしてもらわないとイケない。

職員が未接続世帯を訪問して、接続の促進をしているが、現実問題として、難しい。

もう少し高齢化率が低い時ならば、接続率も上がっていたかもしれないが、なかなか厳しい状況である。

会 長 本計画は戦略的な計画であるため、具体的な事業まで、詳細に記載していくことは難しいと思う。

しかし、接続率（水洗化率）の向上の取組をしていくことについては、記載してみてもどうだろうか。

今の段階では、下水道整備を面的に広げていく、しかも、立地適正化地域を重点的に整備していくという方向性を出している。

すでに下水道が整備されているところにおいても、下水道への接続を促進させるということに記載しておいてもいいと思う。

そのあたりを検討していったほしい。

委員	<p>下村会長と同感である。</p> <p>融資斡旋制度があるとのことであるが、そんな情報も載せてほしい。</p>
委員	<p>資料を一読させてもらった。感触としては、読みやすかったすかったと思う。</p> <p>個々の内容については、いろいろあるが、よかったのは、「はなてい」のイラストが随所にあったことである。</p> <p>読みやすい文章が続いても、疲れる。そんな中、「はなてい」のイラストがあるとほっとする。</p> <p>最後に「はなてい」を入れていいと思う。</p> <p>3ページにもイラストがあるが、「はなてい」というイラストキャラクターの説明を加えてみればどうか。よりわかりやすいと思う。</p> <p>誤字脱字というところで、本編40ページ、一番下に「?」、42ページ、「イ. 処理場やなど」の誤字などが多くある。</p> <p>早速、PRの取組について記載してもらっていることは評価するが、まだまだ誤字もあると思う。</p>
会長	<p>「てにおは」、句読点、文字サイズなどについては、事務局と会長預かりで、最終的な確認をとっていきたい。</p> <p>本日、ここが間違っているというところを赤字で修正して、事務局に預けてもらえればいいと思う。</p>
副会長	<p>概要版、第2章現状と課題で、普及率が低いとのことであるが、今後、人が減っていき、経営が苦しくなることが課題であると思う。</p> <p>②で人口と普及率の推移を示すよりも、本編16ページにあるような、将来の人口推計がこんなに減っていき、どう考えても収益が見込めないことを提示していく方がいいと思う。</p>
事務局	<p>本編16ページに示している「将来人口推計」については、概要版においてもできる限り載せていきたい。</p> <p>なお、概要版②人口推移グラフと本編9ページのグラフが異なるのは、概要版はわかりやすくする形で掲載したつもりであったが、ご指摘をいただき、統一性を図っていきたい。</p> <p>概要版は、②人口と下水道普及率の推移については、人口推計を含めた形で記載するように修正する。</p>
会長	<p>もし、人口推計について掲載していくとなると、しっかりと課題を整理した上で、記載していかないといけないと思うが、事務局として、どうだろうか。</p>

事務局	本編 16 ページにある人口と水重要の説明文を凝縮して記載するなど、収益が見込めない旨を説明できるように、さまざまな工夫をして、記載したい。
会長	こんな問題があるから、どうしていきたい旨を書いてほしい。現状の抜粋だけでは、いけないと思う。
副会長	第2章は課題なので、人口が減少していく、水需要が減っていく、そして経営が苦しくなっていく、そんなことを記載していくべきではないか。
会長	このあたりはバランスの問題もあると思う。 人口減少が進み、経営が苦しくなってくることもわかる。 一方、立地適正化で、人がそこに集まってくるとすれば、全域に普及しなくても、立地適正化区域内を整備していくと、人口普及率が上がるかもしれない。どう普及を見込んでいくのか。一番の課題でもある。立地適正化区域内を整備して、普及率を高めていくというストーリーになっているとも思う。 図の入替のみならず、追加説明を加筆してほしい。
委員	概要版と本編の目次を比較すると違和感がある。 第2章下水道事業の現状と課題の部分で、本編の柱と概要版がマッチしていないと思う。 概要版の第2章で、現状で何が問題となり、何が課題となっているのかについて、もう少し、ハイライト（強調）してほしい。 例えば、特にこの三つが課題であるということを示した方がいい。議員や市民の方に公表していくこともあり、柱をはっきりさせた方がいいと思う。
会長	評価軸を入れ替えるということか。
委員	概要版の⑤⑥は、財政の問題を挙げていると思うが、何が課題なのか、はっきりしない。 概要版の①②③④については、これだけが、現状の説明となるのであろうか。 財政面の課題はこれである、などとはっきりさせてほしい。
会長	現状と課題について、番号をずっとつけているが、目次構成に合わせて、タイトルにキャプション（説明文）をつけてほしい。

例えば、本編の目次でいくと、第2章1. 事業の概要とあり、次に外部環境(1)人口と水需要なら、概要版においては、それに対応した中身のあるキャプション(説明文)があり、図(グラフ)を入れていくといった、補足した説明がある。

目次の構成にあわせて、図表を整理して欲しい。その方がわかりやすい。

概要版、右側の説明、例えば、⑤の説明文において、「流域下水道負担金が約1.9億円となっています」とあるが、この金額が低いのか、高いのか、十分なのか、などといった評価が入っていない。「1.9億円となっています」は現状である。評価を入れいくことで「課題」となる。すべての項目で何が問題・課題なのかわからない。

例えば、「駅前に自転車がが多い」なら、現状を表している。多いから通行しにくいとか邪魔になるといった評価を入れると課題となる。

「1.9億円となっています。」これなら、現状である。これで十分なのかどうか、評価を最後に入れることによって課題となる。

再度、キャプション(説明文)をつけて、図表を整理してもらうことと、課題を書くのであれば、評価を入れることに留意してほしい。

委員 本編の37ページ、現段階での事業認可区域外の整備について述べられている。この後、議会への説明やパブリックコメントを実施するので、公表されることになる。

舞地区については、し尿のみを単独集中浄化槽で事業者が処理をしており、雑排水はそのまま流れている。浄化槽法が、改正され、都道府県知事が、助言・指導できるようになったと思う。舞地区の方はこのままでいい、ということではなく、雑排水を含めて処理されるべきものとなる。そこで、もっと具体的に、浄化槽のあり方も含めて詳しく書いた方がいいのではないのか。

会長 これは下水道の計画であるので、どこまで浄化槽の話を書けるかどうか微妙である。

下水道計画からはずれた地域をどうしていくのか。この段階で書いておくかどうか。浄化槽でしっかりフォローしていくのかどうか。

他の経営戦略で、そこまで書かれているのであろうか。

立地適正化計画の中では、立地適正化区域に公的資金を投入していくことにしている。また、立地適正化区域からはずれた地域もしっかりとフォローしていくと盛り込んでいる。

下水道の今後の整備について、どうしていくのかという計画の中で、環境事業系の浄化槽のあり方などについて盛り込まれていくものだろうか。

副 会 長	<p>今まで、下水道普及率が9割以上の高い事業体に関わってきた。阪南市のような普及率が低いところは、初めてであるが、浄化槽について、何か盛り込んでおかないと、浄化槽の担当部局との連携がとれなくなるかもしれないし、その他の事情も出でくるかもしれない。</p> <p>本編37ページで、「関係部局と連携し」と加筆されていると思うが、連携をとっていくのには、浄化槽の方針を出しておくべきではないだろうか。この計画で方針を出していくことは、重要であると思うが、生活環境部局と調整が不可欠な課題である。生活排水計画とうまく合わせられる計画にしてほしい。</p> <p>ともかく、関係部局が同調していくことが大事であると思う。</p>
会 長	<p>ある計画を策定すると関連計画とどう関連させていくのかが悩ましい課題でもある。</p> <p>浄化槽については、「関係部局と連携し」としか書けないのだろうか。</p>
事 務 局	<p>汚水処理については、汲み取りか浄化槽か下水道だけである。現実問題として、市として浄化槽を促進していくための方策をどこまでできるのかということもある。</p> <p>建築基準法では、下水道がなければ、浄化槽にしなければならなし、新しい建築では、垂れ流しということはない。公共下水道以外は、当然に合併浄化槽となることになる。</p>
委 員	<p>浄化槽については、下水道課ではなく、生活環境課が担当か。</p>
事 務 局	<p>生活環境課である。</p>
会 長	<p>下水道整備計画は広げていくが、予算にも限界があるし、人口は減っていく。しかし、立地適正化計画の居住誘導区域に人が集中してくれば、その部分の下水道の整備をしていくと普及率は上がることになる。もちろん接続率も上がった方がいいが、それ以外の地域は、下水道の計画で書けない状態にある。整備されていないところは、合併浄化槽とする義務があり、海に直接放流できないという中で、下水道を整備しないから下水道課として補助金を出していくとも言えない。この計画の中では、市全体として考えていき、縦割りということになるかもしれないが、役割分担として、下水道部局と生活排水の担当部局が連携していく、としか書けないようにも思う。</p>
事 務 局	<p>公共下水道の役割として、汲み取りや単独浄化槽を下水道に接続させていけないといけない。</p>

		<p>一方、下水道認可区域については、なかなか整備が進まないこともあり、認可区域の見直しをしていくことになる。</p> <p>認可区域外については、既存の単独浄化槽を合併浄化槽にする場合は市からの補助金等で対応していくことになると考えられる。</p>
会	長	<p>下水道整備と浄化槽という役割分担はあるが、大きな意味での下水を進めていくことになる。</p> <p>今回の計画で、どこまで浄化槽について書けるか、書きづらいところもあると思うので、本計画に浄化槽の整備について、あまり詳しく書かない方がいい、ということでもいいだろうか。</p>
各	委 員	<p>特段意見なし。</p>
委	員	<p>第1章の話に戻り、恐縮であるが、下水道の機能・役割として、生活環境の改善、水質保全、浸水被害の防止とある。そうした場合、水質保全の話がこの計画に盛り込まれていないのではないかと。環境保護の側面から、下水道の役割は非常に重要であると思う。</p> <p>確かに、この計画は財政面のところが多いと思うが、きれいな水を、ということで、イメージアップにもつながり、少しは盛り込まれても良いと思うがどうだろうか。</p>
副	会 長	<p>阪南市は下水道の処理施設を持たないので、なかなかそこまで書きにくいのではないかと。</p>
会	長	<p>下水道処理場の話まで、この計画に書くかどうかということである。今は、高度処理（微生物の塊である活性汚泥を利用して有機物を分解する高度な汚水処理）ということで下水処理がされている。</p> <p>もし、書けるとしたら、例えば、琵琶湖の水を美しくするために、せっけんの使用をどうしていくのか、といった市民意識の高揚までの記載が必要かということになる。</p> <p>最後にPDCAの話がでてくるが、市民は何をするのかということにつながってくると思う。このあたりはどうだろうか。</p> <p>地球規模での環境問題、次持続可能な社会といった問題に関わる水質保全についてまで、この計画の中に盛り込むべきであろうか。</p>
事	務 局	<p>本編8ページに、南大阪湾岸南部流域下水道事業についての記載があり、南部水みらいセンター（下水道処理場）の記述がある。その中で、高度処理をしている旨の記載があるので、水質保全についての記載は網羅できていると考えている。</p>

委員	<p>市民感覚で申し上げると、「てんぷら油を流さないでください」のような市民に啓発をしている協力を頂いている事項があれば、設備を維持管理していくことが重要である旨の記載も必要かとも思った。</p> <p>下水道処理施設がないため、具体的なことまでは書きにくいと思う。しかし、下水道と市民をつなぐという意味では、市民目線の記述も入れて頂くと、読みやすいと思うが。</p>
会長	<p>本編 8 ページにそこまで書くと、前のページにおいて、啓発活動などについて、水を出す市民側からの話を盛り込まないといけない。そして、それを受ける側の記載とならないと、話のつながりがよくないと思う。</p> <p>環境への配慮などについて、どこまで書き込んでいくのか、微妙である。とても大事な話であると思うが、経営ビジョンで書くのであればいいだろうが、経営的側面に特化したこの経営戦略に書くのは、難しいと思う。そこまでは書ききれないということでもいいだろうか。</p>
委員	<p>優先順位があると思うので、構わない。</p>
事務局	<p>本編 18 ページに、SDGs の記載もあり、大きな意味で環境面の記載がされていると考えている。</p>
会長	<p>SDGs、ここを拠り所とすれば、いろいろと深まってきて、事業の採算も含め、また追加の記載が必要となり、大変だと思う。</p> <p>SDGs については、概略として、さらりと触れる位でいいと思う。</p>
委員	<p>民間企業の審査に携わっているが、目標に対し、こういう取組をやっているという、年間の具体的な数値まで求められる。SDGs について、将来的には、具体的・詳細な取組の記載まで求められるかもしれない。この戦略では、具体的・詳細な記載までいいのではないか。</p> <p>話は変わるが、本編 42 ページの「下水道の見える化」について、意見を述べたい。</p> <p>阪南市下水道課のホームページを調べてみると。阪南市下水道条例、条例施行規則の掲載はある。</p> <p>今後、下水道の注意喚起についても、本市のホームページに掲載していくとのことであるが、四條畷市のホームページでは、下水道が整備されると水洗化しなければならない義務があると明確に記載し、住民の負担もあるが、下水道の処理能力が十分に発揮され、水がきれいになるには、水洗化率（接続率）の向上が不可欠であると明確に書いている。</p>

		<p>これくらいのことなら明日にでも書けると思う。このような注意喚起について、啓発について、是非、検討してほしい。</p>
会 長		<p>戦略策定後、広報活動を含め、市民に対して開かれた下水道、であるための意見であると思う。是非、取り組んでほしい。</p> <p>これから、庁内調整の上、議会へ報告して、パブリックコメント（パブコメ）にかけるということであるが、もう一度、会議はあるのか。</p>
事 務 局		<p>3月下旬に、もう一度、開催させていただきたい。</p>
会 長		<p>2月9日からパブコメとのことであるが、それまでもう一度、審議会を開催することは、日程的に、困難であると思う。</p> <p>体裁、表示、誤字脱字については論外であるが、資料2の概要版については、本編の目次構成と大きくずれないようにし図表を入れていてほしい。</p> <p>また、現状は「1.9億円」、だからどうなの、という文末の評価まで入れて、課題の整理としてほしい。</p> <p>体裁・表示などは、しっかり事務局で確認してほしい。</p> <p>再度、修正したものを、私が確認をして、パブコメにかけたい。</p> <p>パブコメや庁内などからの意見を加味して、最終修正案の最終確認を3月にしたい。</p> <p>委員にはパブコメでご覧いただけると思うが、その後、微修正になるかもしれないが、3月の本審議会でも、再度、確認して、ご了承いただき、市長に答申したい。</p>
副 会 長		<p>根本的なところとなるが、基本理念のところ、本編34ページの下、「次世代へつなぐ下水道」とあるが、ある意味、次の世代へつなぐ、次世代へ負担を残さない、負担を残さない旨を記載すべきではないか。</p> <p>国の方針や他のビジョンでも負担を残さない旨の記載がある。</p>
会 長		<p>下水道を整備して、生活環境の改善、水質保全、浸水被害の防止という、3つの環境整備が整うことになる。</p> <p>そこで、いい環境を未来へつなぐ、意味もあるが、将来へ負担を残さないという意味においても、どういう理念で、つないでいくのかというところも、できたら追記してほしい、という意見であると思う。</p>
副 会 長		<p>経営計画なので、事業がショートしないための（事業を継続していくための）計画であるべきで、次世代でもショートしない（継続させていく）という意図もあるのではなかろうか。</p>

もう一点ある。

概要版、第4章、財政計画の今後の方向性において、前回の審議会において、2パターンの試算の提示があり、この素案の方向性ということになったが、このパターン（方向性）となった筋道を書いておいた方がいいのではないか。

これまでは、事業認可区域を中心に整備してきたが、このまま整備をしていくことに限界があるので、効率的な整備計画をすすめながら経営的に継続していけるところを見定めて、このような方向性になってきたと思う。

概要版では、いきなり、シミュレーションがでてきている。それよりも前に、どうしてこうなったのかという論点をいれておくべきである。

確かに試算などは大切である。しかし、何のために方針転換をしたのかという筋道を書いてくべきではないか。

会 長 非常に重要な意見であると思う。52%の普及率をあげていくのか。立地適正化区域を中心に整備していくのか。全体として、人口配分的に普及率をあげていく発想のもとに、こういう方向性になったという記載が必要なのではないのか。市街化区域の中でも限定して整備していくという、方向転換となる理屈付けをしてほしい。

事 務 局 立地適正化区域、特に人口密度の濃いところを優先的に整備していきたい。

会 長 インフラ整備、都市施設の整備を充実させていくというストーリー（筋道）を書いていってほしいと思う。

最後に、第5章自己検証・更新において、進捗管理として、PDCAとの記載があるが、本市の特有なものとして、外部評価委員会などを開催していくのであろうか。

このような記載ならコピペでいけるものかもしれない。

書きにくいことはわかる。大事な話であるが、次の計画につなげていくという、本市の意気込みとなるような固有な取組もほしい。計画を作り、予算をつけるだけではなく、次の計画につなげていくことも大切である。

そして、立地適正化区域の中でもどこから先に整備していくのかというアクションプランの確認をしつつ人口推移も確認していかないといけない。もし、新しい開発などがあれば、普及率もあがるかもしれない。

予算と計画も含めて、体制を整えた上で、外部評価にかけるなど、内部調整をしてほしい。

		<p>本市では、ここに着目して頑張っていくというもの、見えた方がいいと思う。隣の市のコピペとにならないようにできればいい。そこまでできないことはわかるが。</p>
委 員		<p>第4章に少し戻るが、本編36ページであるが、読んでもよくわからない。なかなか言いたいことが理解できない。</p> <p>「投資試算」「財源試算」において、「均衡させる」ということがどういうことなのか。わかりにくい。</p> <p>本編35ページでは、「収支のバランスがとれた経営」という記載があるが、「バランス」のイメージがつかみにくい。もう少しわかりやすく記載してほしい。何をもって「バランス」なのか。どのあたりまでを目標としているのか。「投資と財政」のバランスなのか。</p> <p>本編40ページでは、投資の方の目標が見えてこない。丁寧に書かれていると思うがもう少し見えるようにしてほしい。</p>
会 長		<p>本編35ページ基本方針の中の「バランス」という表現は、後のページでは可能な限り、使って行ってほしいと思う。この単語がほとんど出てきていない。「～をすることによって、収支の収支バランスを図ります」などという表現にしてほしい。</p>
委 員		<p>本編36ページのBCP計画において、災害だけでなく、新型コロナなど感染症に伴う職員体制も含めて、BCP計画とするべきである。今までは大雨など災害に対する計画であったが、BCPを見直してほしい。</p>
会 長		<p>BCP計画については、市のマネジメント計画となるので、市全体で検討してほしい。</p> <p>この素案であるが、今日の意見の内容も反映させ、構成も見直した上、見やすく修正して、何とか、パブコメに間に合わせてほしい。</p> <p>審議会の後、修正して、庁内の意見を受け、また修正ということになるかもしれないので、今回の審議会での意見をパブコメの意見とする場合もある。「てにおは」について、直しておくのは当然であるが、パブコメの資料として、一括して提示していくという方法である。</p> <p>審議会として、パブコメがはじまる2月9日までに再確認することは、時間的に余裕がないので、私が再確認するというでいいか。</p>
全 員		<p>意義等なし（会長一任）</p>
会 長		<p>本日の審議会を終了する。</p>

- (2) その他
特になし

次第3 閉会

事務局より、次回は3月下旬で調整する旨を連絡。

終了

8. 備考

本議事録は、審議会における発言内容を一言一字再現したものではなく、発言内容をとりまとめたものである。また、略語等について、適宜、()で説明を加筆した。

以上